

さくらの里だより

白寿荘
さくらの里
蓮花寺 382
☎53 - 8677
第 1 号

初版によせて 白寿荘よりごあいさつ



介護保険の改定により地域密着型サービスが創設され、平成二十年白寿荘の在宅課として「さくらの里」が誕生しました。

「住み慣れた地域でいつまでも暮らし続けられるように支援する」ことを目標に今日まで頑張ってきました。地域の皆様、ご利用者様、ご家族様など：皆様方のおかげさまを持ちまして来年は五周年を迎えられることとなりました。

今後とも、皆様に喜ばれる家作りを目指して職員一同精進してまいりますのでご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

『長寿お祝い会』

9月29日(土)にお祝い会を開催しました。



多くの利用者さんとご家族にご参加いただき盛大に開催することができました。今年はお杉の堀江氏の手品を見させていただきました。皆さん見事な手品に拍手喝采でした。



日帰りバス旅行

十月二十九日、利用者さんとご家族と一緒に大型バスに乗って四日市市のユニークイカンに行ってきました。バス旅行は今年で三回目となります。白寿荘の利用者さんにもご参加いただき、元気に出発しました。



皆でおいしくお食事をいただいた後に見たお芝居や踊りは、きらびやかで夢の中にいるようでした。ご家族からは「本人のいつもと違う姿を見ることができて癒された」「一緒に旅行できないとあきらめていたのに出かけられてうれしかった」と聞かせていただき、今年も企画できてよかったです。お土産もたくさん買って、旅行気分を満喫できた一日でした。ご家族にはお忙しい中ご協力いただき、感謝しています。ありがとうございました。

地域の皆さんとの交流

さくらの里では地域の方々と積極的に交流を深めたいと思っています。

近隣の桜谷幼稚園・さくら園・桜谷小学校との交流は、利用者の方々もとても楽しみにしております。かわいらしいお友達と笑顔でふれあっておられる姿はとてもほほえましく、心があたたくくなります。



また、そば工房あべいの皆さんには、毎年七夕に来ていただき、おいしいおそばをごちそうになります。よく覚えておられる利用者さんもおられ、恒例の行事となっております。地域の方々との交流を大切にし、誰もが気軽に立ち寄れるような場所でありたいと願っています。





小規模多機能型サービスってどんなサービス？

小規模多機能型居宅介護は、「通い（デイサービス）」を中心として、要介護者の様態や希望に応じて、随時「訪問（訪問介護）」や「泊まり（ショートステイ）」を組み合わせることで在宅での生活が継続できるように支援するものです。

このサービスが創設される前は、「通い」、「訪問」と「泊まり」などの介護サービスをそれぞれ別の事業所で利用されていたので、それぞれの場面で利用者に対応するスタッフが違い、馴染みの関係やケアの連続性が保たれないなどの問題がありました。特に認知症高齢者の場合、記憶や認知機能の障害のために、自分のいる場所がわからなかったり、周囲の環境の変化に対応ができなくなるなど、不安や混乱から症状の悪化を引き起こすことがみられました。

小規模多機能居宅介護を提供する施設は、地域に根ざした小規模の施設であるため、「通い」、「訪問」、「泊まり」等のサービスを利用させていただくときに同じスタッフが対応させていただきますので、連続性のあるケアを利用できる利点があります。

さくらの里のサービスについて

さくらの里の登録者数は 24 名です。「通い」は 12 名、「泊まり」は 5 名の定員となっています。さくらの里と他の通所介護や訪問介護を利用させていただくことはできませんが、訪問看護、訪問リハビリテーション、居宅療養管理指導、福祉用具貸与などのご利用いただけます。

今までの介護保険サービスとは少し異なる部分があります。ご利用についての詳細は、お気軽にご相談ください。

さくらの里ではご利用いただく皆様の多様なニーズにお応えできるよう心がけています。まだまだ、未熟なところもたくさんありますが、地域の皆様のご理解とご協力を得て、より良いサービスの提供に努めたいと思っています。



さくらの里には毎年ツバメがやって来ますが、カラスや蛇におびえてなかなかヒナがかえることはありませんでした。それでも負けずに毎年やってきてくれるツバメたちに、今年もかわいい赤ちゃんが生まれました。何度も飛ぶ練習をして元気に巣立つていく姿を見て、私たちも元気をもらえました。



お問い合わせは…

白寿荘小規模多機能ホーム さくらの里

日野町蓮花寺 382 ☎53 - 8677

担当：岩井

西桜谷公民館文化祭に出品しました



「来年も作品をたくさん出しましょう」と、今からはりきって取り組んでおられます。